

ボランティアをしたい人と
してもらいたい人をつなぐ

みんなのボランティア情報誌

月刊

ボラナビ

2010 年

6 No.142
月号

無料

ご自由にお持ち帰りください

N P O な 人

OB・OGコラム

NPO 法人知的障害者在宅支援・りほん理事長 藤澤静江さん
泣いた! 笑った! スリランカの人々と...

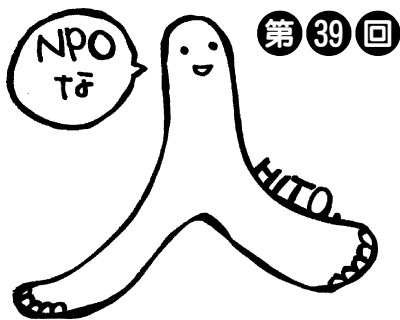


今月の表紙イラスト

プロとしてご活躍で札幌市在住
の村井里津子さんにご提供いた
だきました。

表紙のイラスト
募集中

北海道の NPO 法人認証数
1,590 法人
(2010 年 3 月末現在)



.....

NPO 活動をしている人をどのくらいご存じですか？
どんな人が、どのような経緯で始めたり、関わるようになったのでしょうか。
北海道の多くの市民活動家の中から、まさに「NPO な人」として紹介したい方に、これまでのエピソードを教えてくださいました。

.....



著 者

NPO 法人知的障害者在宅支援・りぼん 理事長
藤澤 静江 (ふじさわ しずえ)

1949 年余市町生まれ。

夫と次男、長男夫婦、その 2 人の子どもと一緒に、にぎやかに暮らしています。
来年度、介護事業所オープンにむけ、仲間ともうひとがんばりです。

出会い&共に生きて

1978 年 1 月、まだ妊娠 8 ヶ月なのに、さい帯異常で「へその緒」が切れそうになりながら、1500 g という小さな体の次男が生まれてきました。ウィルソンミキティ症候群(肺が未成熟な状態で生まれたために起こる病気の総称)でした。この次男との出会いが、私の生き方の支えであり、生きがいとなっています。

生まれてすぐに、次男は北海道小児保健総合センターに入院し、それは 6 年 2 ヶ月にもわたりました。その間、次男の命が消えそうになったことが何度もあり、私は治療を続けることへの希望を失っていききました。そうした中で、医師から人工呼吸器をはずす選択肢を示されました。私は答えることができませんでした。でも夫が「それはできません」と言ったことで次男の命がなくなり、その後徐々に回復していきました。「最後まであきらめてはいけない」ということを、死が目前であった息子から身をもって知らされた出来事でした。

その後、自宅での生活が始まりましたが、退院したと言っても、のどにはカニューレ(薬液の注入や体液の排出、気管切開の際の空気の通路とする場合などに用いるパイプ状の医療器具)と人口呼吸器、酸素ふか装置も付けたままでした。また、6 歳といっても歩くこともままならない状態でした。それでも家族と一緒に生活できることが何より嬉しく、次男の洗濯物をたたむ幸せを実感したものでした。

「奇跡」と言われる回復を見せた次男ですが、身体障がい(内部疾患)と重度の知的障がいは残りました。しかし器械は取れていき、幼稚園や小中学校入学、高校受験ではそれぞれ問題に直面しながらも何とか卒業し、現在は知的障害者生活介護事業所に通っています。

一般とは異なる経験を重ねながら、私たち家族はたくさんの人たちと知り合い、助けられました。多くの出会いが、私自身の生きがいの礎となっていることに感謝しています。



さっぽろ羊ヶ丘展望台で、会のみんなと

りぼんへの思い

障がいのある人たちが普通に暮らすことは、本当に大変です。でも障がいがあるからこそ、普通の生活が必要なのです。なぜなら子どもは、同じ経験を繰り返すことで力を身につけていきます。例えば親と一緒に買い物に出かける中で、信号の色を学び、買う物や場所を知り、危険を感じ取ります。これらは、病院や家の中では経験できません。でも障がいがあっても外出できない子もいますし、外出できても、本人はもちろん、家族もその障がいとうまくつきあわなくてはなりません。

障がい児が色々な体験をしようとしても、困難が伴うことがあります。そのため障がい児は、経験できる範囲が親の意識に左右されると言っても過言ではありません。もし親が泳ぐことに関心がなければ、その子が泳ぎを体験できる可能性はほとんどないでしょう。健常な子どもであれば、ある程度の年になると、自分自身の力で親を乗り越えて社会に飛び込んでいき、仲間をつくり、善いことも悪いことも含めたくさんの経験を重ねて成長していきます。でも障がいのある子どもは、仲間と付き合うことが苦手です。健常の子どもに比べると出会う人も機会も少ないので、成長を促される経験がとぼしくなりがちです。社会の中で意識せずに繰り返される普通の生活が、子どもの様々な能力に結びつき、また、たくさんの人たちとの出会いが、子どもが価値観の違いを感じ、自分の意見をもつことへと繋がっています。「障がいがあっても社会の人たちの中で暮らし、与えられた人生ではなく、選ぶことの出来る人生を送って欲しい」——これが次男に対する私の大きな夢であり、りぼん設立への思いとなりました。

1997年、次男が縁で知り合った同じ思いの親たち30数人と、「在宅支援を考える会りぼん」をスタートさせました。私たちにあったのは夢や思い、そして勢いだけでしたが、札幌この実会代表の加藤孝さん、札幌三和福祉施設長の諸田和夫さんの力添えを得たこと、そして、西区社会福祉協議会の事業として、地域の人たちと知的障がい児・者の相互理解を目的にした研修会やレクリエーションを実施し（現在も継続中）、多くの地域の人たちと出会えたことが、りぼんの土台となりました。

この間、社会の制度は大きく変化しました。でも、制度を充実させることはもちろんですが、何より大切なのは「人」だと実感しています。りぼんを支えたのも人の力でした。障がいのある子どもの親たちが勉強会を続けることで、りぼんができ、地域の人たちと居宅介護事業所を運営するようになったのです。

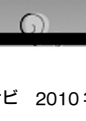
「障がい児・者の住むところ・働くところ・余暇を楽しむところにおける支援と、地域での社会参加を積極的に進めることにより、社会福祉の発展に寄与することを目的とする」りぼんの願いが大きな輪となること、障がいのある人たちと、共に支え、共に歩んでくれる人たちの笑顔がいつばいになることを願ってやみません。

ボランティアを募集しています

- ・りぼんのレクに参加してくださる方／年10回程。都合のつく回だけでOK。
- ・宿泊体験時のボランティア／毎月1回。食事作りや清掃をお願いします。
- ・デイサービスのボランティア／毎月1回。作業介助をお願いします。

■■ NPO 法人知的障害者在宅支援・りぼん ■■■

Eメール ribon_ribon@adagio.ocn.ne.jp
TEL : 011-665-8004 FAX : 011-665-8080
札幌市西区平和1条8丁目2番18号



volunavi *café*

ボラナビカフェの

開催回数を増やします！



ボラナビカフェは誰でも参加できるおしゃべりの場です。老若男女が参加し、一つの輪になって順に話し、いろいろな思いや話題に触れていきます。これまで毎月1回、参加費300円で開き、様々なおしゃべりが繰り広げられてきました。今まで以上に多くの方に参加していただくため、今年度（6月～来年3月）は、毎月5回程度開催します。

日時：毎週土曜日と平日1～2回。全て10：00～11：30。スケジュールやこれまでのカフェの様子は、「ボラナビ」誌面とホームページでお知らせします。（「ボラナビカフェ」で検索、または、<http://www.npohokkaido.jp/volunavi/modules/cafe/>）

場所：○平日／札幌市中央区北5条西6丁目札幌ビル6階食堂「向日葵」
○土曜日／同上ビル7階ボラナビ倶楽部事務所
○平日・土曜日で無料託児有／札幌市北区麻生町6丁目高橋ビル2階 cafe 亜麻人（あまんと）。有料駐車場あり（ビル裏手。100円／時）。

その他：参加費無料。毎月第2週土曜日は300円（飲み物とお菓子付き）。定員10人。

6月の
開催日程

12日（土）／300円。月寒あんぱん本舗（株）ほんま様よりお菓子の提供あり。
19日、26日いずれも（土）／ボラナビ事務所。
14日（月）／cafe 亜麻人（託児可能）。
21日（月）／札幌食堂「向日葵」。

7月の
開催日程

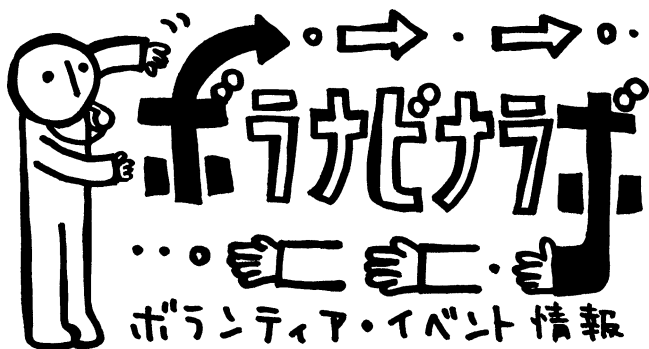
10日（土）／300円。月寒あんぱん本舗（株）ほんま様よりお菓子の提供あり。
24日、31日いずれも（土）／ボラナビ事務所。
17日（土）／cafe 亜麻人（託児可能）。
19日（月）／札幌食堂「向日葵」。

お問合せ・お申込み：NPO 法人ボラナビ倶楽部

TEL 011-242-2042／FAX 011-242-2042／Eメール volunavi@npohokkaido.jp

・各開催日の一週間前までにお申し込みが必要です。最少催行人数4人。開催が決定した場合に限り、開催日当日までお申し込みを受け付けいたします。
・託児を受け付けられる子どもさんの人数は限られています。お申し込みの際にお問い合わせください。障がいのあるお子さんも受け入れられるように努めますので、障がいの詳細をお知らせください。

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業



情報をお待ちしています

ホームページの入稿フォームをご利用ください。

● ボラナビ <http://www.npohokkaido.jp/volunavi/>

※インターネット環境が無い方は、FAX や郵便でお送りください。

締切は毎月 25 日。次回は 6 月 25 日締切で 8 月号掲載です。

掲載情報のご利用にあたり

- 情報の詳細は各団体にお問い合わせください。
- 活動で生じた問題につきましては、当事者間で解決を図られるようお願いいたします。また、万が一の事故やケガにそなえてボランティア保険への加入を推奨します。
- 思いやりをもって活動しましょう。

6/10
締

科学の面白さ、伝えていきませんか？ サイエンスサポーター募集！

北海道科学活動ネットワークは、北海道各地で開催される「青少年のための科学の祭典」や科学教室・環境工作教室などの事業を通じて、科学の普及・増進活動を行っています。このたび、イベントで実験工作を指導していただける方、また会場運営のサポートをしていただける方を募集しています！あなたの力をイベントや科学教室などの場で生かしてみませんか？実験工作を一から学ぶことができる研修会も行いますので、初めての方でも安心して活動に参加できます！参加ご希望の方は事務局宛にお気軽にご連絡ください。当法人のホームページからご応募いただけます。

● 日時／土・日・祝日を中心。準備・後片付けを含め、10：00 頃～16：00（12：00 から一時間休憩）。

● 対象／子どもの活動及び科学の実験・工作に関心のある方で、土日祭日を中心に行う活動に年度内で 5 回以上参加可能な社会人、学生、教員、主婦など成人。先着 20 人で締め切らせていただきます。

● その他／法人規定により、活動日に限り、謝金・交通費・材料費・昼食が支給されます。

● お問合せ／NPO 法人北海道科学活動ネットワーク E メール info@kitakagaku.org

TEL：011-802-6000 携帯：090-8901-8010 FAX：011-802-8701 ホームページ <http://www.kitakagaku.org>



月1回 アートワークを通して子どもと遊ぶボランティア募集

私たちは、子どもたちがのびのび自由にアート表現できる場所を目指し活動しています。2～6 歳までの幼児・小学生と一緒に絵を描いたり、工作したり、粘土をこねたり、外で遊んだりするボランティアを募集しています。アートセラピーを取り入れていますのでセラピーに関心があり、長期でアートセラピーを学びたい方や子どもが好きな方、アートが好きの方、こうした活動を将来に活かしたい学生さんなど大歓迎です。年齢は、19～50 歳ぐらいいまで、男女を問わず募集しています。経験がなくても大丈夫です！お気軽にお問い合わせください。

● 日時／月 1 回日曜日午前。

● 場所／厚別区民センター（札幌市厚別区厚別中央 1 条 5 丁目）

● 交通機関／地下鉄東西線「新さっぽろ駅」又は JR「新札幌駅」より徒歩 5 分

● お問合せ／どこにもないアート教室ちびぼくく〈担当：遠藤〉E メール chibipoque@yahoo.co.jp

TEL・FAX：011-895-4700 携帯：080-5586-4400 ホームページ <http://ameblo.jp/chibipoque/>

ハンド・フットケア教室

癒しとぬくもりのケア

オイルを使って、温めた手で利用者の手足をさすり、なでてあげる優しい手技です。肌と肌が触れ合うことで心にも触れ、コミュニケーションを取りやすくなります。

※社会福祉施設に勤務する看護師を対象に講義経験有。

（平成 21 年度北海道社会福祉協議会主催）

日 時／毎月第 2・第 4 土曜日 13：00～15：00（2 時間／回 5 回）

会 場／札幌市中央区南 2 条西 6 丁目 狸小路プラザハウス 2 階

受講料／35,000 円（教材・修了証書代含む）

NPO 法人 日本ヒーリングケア協会・ヒーリングケアスクール札幌 代表：男沢（おさわ）千恵子

TEL：011-824-3848 FAX：011-824-3844

ホームページ <http://www.healing-care.jp>



「元気の芽」応援します。

詳しくは  または

北海道新聞社

国際交流活動のメンバー募集

「世界の子どもをつなぐ教室 (ccc)」で、活動するメンバーを募集しています。私たちがサポートしているのは、日本のフリースクールとカンボジアの孤児院の子どもたちや、日本とウガンダの子どもたちの絵や手紙による交流プログラム、インドの児童労働をしていた子どもたちのための NGO (ボーンフリーアート・スクール)、そしてクロアチア国内のボスニア難民です。彼らのライフ・ヒストリーを聞き取って、そのメッセージを日本に伝えています。また彼らが作成した物品、ポストカードの販売などを行っています。現在のメンバーは、学生中心です。一緒に世界の子どもたちが会おうお手伝いをしませんか？

- 日時／定期ミーティングは毎月第4土曜日 13:00～15:00。勉強会は毎月第2土曜日 13:00～15:00。
- 場所／連絡をいただいた時に、お知らせします。
- その他／寄付を一口 1,000 円より受け付けております。協力していただける方は以下の口座にお振込みいただくか、ご連絡ください。
北洋銀行 北七条支店 口座番号 3921728 世界の子どもをつなぐ教室 実行委員会
- お問合せ／世界の子どもをつなぐ教室 (ccc) <担当: 兒玉 (こだま)>
E メール exchange.ccc@gmail.com ホームページ <http://exchange.kuronowish.com>

7/11 賞状に名前を書くボランティア

スポーツチャンバラ大会の会場において、賞状の「名前のみ」を毛筆(筆ペン可)で記載してくださるボランティアさんを2人募集します。事前に面談して打合せをしますが、書道の有段者や賞状書士の資格をお持ちの方だけでなく、毛筆がお得意な方は応募してください。申し込みが多数の場合、面談にて審査させていただきます。それほど時間的に追われる事はありませんが、総数で40枚位になります。興味のある方、お気軽にご連絡ください。

- 日時／7月11日(日)9:00～15:00(面談日は追ってご連絡します)
- 場所／札幌市立南小学校・体育館(札幌市南区南31条西9丁目2-1)
- 交通機関／定鉄バス「南33西11」下車徒歩8分
- その他／交通費とお弁当をご用意します。
- お問合せ／どさんこスポチャンクラブ <担当: 落合> E メール yuu.dosanko@jcom.home.ne.jp
TEL・FAX: 011-882-1030 携帯: 080-1873-5464 ホームページ <http://www.dosanko-net.jp/spochanclub/>

随時 ビーズや毛糸の小物づくりのお手伝い募集

障がい者支援をしている共同作業所「アン・リアン」(仏語できずなの意)では、精神などに障がいのある方たちがビーズ細工や毛糸の小物を作って販売しています。作業のお手伝いをして下さるボランティアを募集します。また、私たちの作業所で一緒に活動するメンバーも募集します。障害者手帳か医師の意見書のある方は、ぜひご連絡ください。

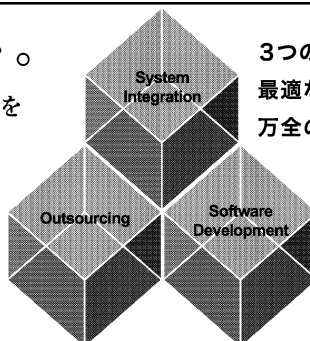
- 日時／月～金曜日 10:00～15:00
- 場所／札幌市中央区南4条東4丁目1 エンドレス大晋 901
- 交通機関／地下鉄東西線「バスセンター前駅」<7番・9番出口>から徒歩7分。又は地下鉄東豊線「豊水すすきの駅」<1番出口>から徒歩10分
- その他／製品は元気ショップ(札幌市地下鉄大通コンコース)などで販売しています。
- お問合せ／NPO 法人共同作業所アン・リアン <担当: 韓 (はん)> E メール koubou@unlien.info
TEL・FAX: 011-206-7816 ホームページ <http://unlien.info>

ITで未来をクリエイト。

私たちHBAは、お客様とお客様の未来を
先進のITで結ぶクリエイター

 **株式会社 HBA**

〒060-0004 札幌市中央区北4条西7丁目1番地8
TEL.011-231-8301 FAX.011-281-0915
<http://www.hba.co.jp/>



3つの事業をリレーション。

最適な情報システムの提案、構築、運用を
万全のセキュリティで総合的に行います。

- システムインテグレーション
- アウトソーシング
- ソフトウェア開発

HBA Relation System

随時 趣味活動を教えるボランティア募集

私たちは1日50人前後の利用者さんが通うデイサービスを運営しています。書道・絵手紙・短歌・歌など趣味活動の楽しさを教えていただけませんか？ まずはお気軽にお問い合わせください。

- 日時／13：30～15：00。月1回でもOK。曜日は相談に応じます。
- 場所／健康デイサービス徳洲会札幌西（札幌市西区西野7条3丁目1-20）
- 交通機関／地下鉄東西線「発寒南」駅よりJRバス「西野二股」停留所下車徒歩2分
- お問合せ／健康デイサービス徳洲会札幌西〈担当：上野・原田〉
Eメール sapporo-nishi@care-net.co.jp TEL：011-665-3210

随時 盲導犬ユーザーのサポーター募集

北海道盲導犬ユーザーの会では、盲導犬ユーザー（視覚障がい者）の交流や移動を支えるサポーター20人程度を募集しています。当会は2002年の身体障害者補助犬法を受け、盲導犬ユーザーの社会参加を進めています。活動内容は旅行やスポーツ、ハイキング時の支援や、駅などでの道案内、買い物時のちょっとしたサポートです。盲導犬の歩行には特殊なルールがあるため、9月中旬に講習会を予定しています。関心をもたれた方は、お気軽にご連絡、お問い合わせください。

- お問合せ／北海道盲導犬ユーザーの会〈担当：八島〉 TEL：0133-78-2040 携帯：080-1889-8300
Eメール jf8izq@phoenix-c.or.jp（または masa-b125.r231@docomo.ne.jp）

随時 デイサービスでボランティアしませんか

円山溪仁会デイサービスでは、利用者様と話をしたり、お茶の用意や配膳、コップを洗ったりなどの活動をしてくださる方を募集しております。ご興味のある方はお気軽にお電話ください!!

- 日時／月・火・木曜日の定期的に活動できる曜日。9：30～15：30（応相談）
- 場所／札幌市中央区大通西26丁目3-16
- 交通機関／地下鉄東西線「円山公園駅」より徒歩1～2分
- 交通費／一律400円。
- その他／性別、年齢は問いません。排泄や食事などの介助はありません。
- お問合せ／円山溪仁会デイサービス〈担当：河野、大塚、加藤、武内〉
TEL：011-632-5500 FAX：011-632-1125 ホームページ <http://www.keijinkai.com/maruyama-h/>



～NPOのちょっとした疑問にお答えします。～

Q 社員への総会の招集は、郵送でなくても、電話やファックス、あるいは電子メールで行っていいのでしょうか。

- **A** 総会の招集通知方法について、特定非営利活動法人法は、「定款に定めたる方法」に従うべきと規定しています。よって、定款に規定を定めれば、どのような方法であっても構わないということです。しかし、社員総会は社員が自らの意思を反映させる唯一の機会であるため、通知は慎重に行うことが要求されます。例えば電子メールを使えない社員がいる、または将来的に入会する可能性があるのに「通知手段は電子メール」と定めることは、社員が総会に出席する権利を奪うことになり問題です。実際、招集通知の手続上の問題が紛争となるケースもあります。多くのNPO法人は、招集通知は書面によると定款で規定していますので、まずは自身の団体の定款を確認してください。
- 下矢洋貴 弁護士(佐々木総合法律事務所 TEL：011-261-8455)

随時 防犯防災ボランティア募集

自分たちの住んでいる街に今までより少しでも安心・安全に暮らせればと思い、防犯防災ボランティア活動を立ち上げました。現在は学童の見守りが主ですが、これから徐々にいろいろな活動をしていきたいと考えております。活動は、協力していただける方が住んでいる地域（町内会など）が中心になります。また、応急手当の普通救命Ⅰ又はⅡの資格を取っていませんか？当グループに応急手当普及員がいますので、私たちの活動に参加・協力していただける方で希望される方には、関係機関と同じ講習を実施し、資格者証の発行申請をしてさしあげられます。講習は無料（遠隔地の場合は講師の交通費要）で、Ⅰは3時間、Ⅱは4時間、その後に1時間のテストを実施します。その他、防災危機管理者もいますので、町内会に無料で講話などを行うこともできます。ご関心のある方はご連絡ください。

●お問合せ／安心と安全の会 R&S 〈担当：中村〉 携帯：080-5594-2145

随時 フェアトレードフェスタ 2010 in さっぽろボランティア大募集!!

フェアトレードに関心を持つ市民が集まり、今年もフェアトレードフェスタを開催します。すべてボランティアで運営するため、ただいまスタッフを募集中です！全体の企画・運営だけではなく、ワークショップ、パネル展、フェアトレード紹介ブースなどそれぞれの企画・運営、会場設営・装飾に至るまで、作業は様々です。当日のみのお手伝いができる方も募集しています。興味はあっても、具体的にどんなことをするの？どんなことができるの？など、分からないことが多いと思いますので、1回40分程度のボランティア説明会を開催します。詳細はHPでご確認またはお問い合わせください。

●日時／説明会の日程、時間は参加者と相談して決めます。フェスタの開催は2010年6月26日(土)・27日(日)です。

●場所／説明会は、フェアトレードショップ Earth Cover 店内（北区北24条西6丁目2-2チサンビル1F）。当日会場は、大通公園1丁目。

●お問合せ／フェアトレードフェスタ in さっぽろ実行委員会 〈担当：千徳〉 Eメール fairfes@gmail.com
TEL・FAX：011-707-5622 ホームページ <http://www.35.atwiki.jp/fairfes2010/>

随時 あなたの力が祭りを創ります

ダンスの祭典「The 祭」も多くのボランティアの方に支えられ、今年で10周年を迎えることができました。多くのボランティア仲間とダンサーたちと一緒に、祭を創りませんか？お手伝いしていただきたいのはブース販売などです。たくさんのご応募お待ちしております。ボランティアは祭直前まで募集しています。

●日時・場所／ボランティア説明会は6月5日(土) 14:00～、滝川市黄金町東1丁目1-10にて。祭りは7月17日(土) 11:00～21:00、18日(日) 10:00～16:00、砂川市石狩川遊水地 オアシスパーク。

●その他／祭りへの一般来場者も大歓迎です。10周年特別企画をお楽しみください。

●お問合せ／IZANAI 北海道 〈担当：船越・谷口〉

Eメール masako@suga-izanai.org 携帯：090-1386-1371 TEL：0125-22-8080（スガジャズダンススタジオ）

6/9 ～13 YOSAKOI ボランティア募集

札幌の初夏を彩る YOSAKOI ソーラン祭りで、私たちのチームのために運営ボランティアを引き受けてくれる方を募集します。内容は、栈敷席の案内、通行者の誘導、踊り子スタート合図、給水係、踊り子補助、チーム補助などです。気軽にお問い合わせください。

●日時／6月9日(水)～13日(日)。主なボランティア活動は12日(土)・13日(日)になります。時間は応相談。

●場所／大通公園他。

●お問合せ／雄武～you've～〈担当：橋本〉 Eメール hassy@youve.net

TEL・FAX：011-206-4032 携帯：090-8905-7168 ホームページ <http://youve.net/>



随時

ご家庭の不用品を集めています

ホームレスの自立支援をするベトサダでは、部屋を提供するために寮を運営したり、ホームレスの就労のお手伝いをして、これまで110人の支援をしてきました。3月に生活補助リサイクルショップベトサダ（札幌市北区北27西7。木曜休日）を開設し、支援して下さる方からいただいた品物を販売し、ホームレスの人たちの自立に役立てています。現在7人が、汚れたものをきれいにしたり、修理して販売し、働いています。ご家庭で不用品がありましたら寄贈をお願いします。また、寄付金も受け付けています。ご協力をお願いします。

- 寄付受付口座／ゆうちょ銀行 02720-1-45798 加入者名 特定非営利団体自立支援事業所ベトサダ 1口1,000円以上をお願いします。
- お問合せ・不用品の送付先／NPO法人自立支援事業所ベトサダ〈担当：眞鍋〉
TEL・FAX：011-788-3960 札幌市北区北23条西5丁目1-18 Dioビル4階
不用品を送られる際は、事前にご連絡ください。

6/11
締

YOSAKOIソーラン祭り学生当日ボランティア募集!

学生の力で北海道を盛り上げよう! 学生実行委員会は「第19回YOSAKOIソーラン祭り」のメンバーと当日ボランティアを募集しています。今や北海道の初夏を代表する祭りも、19年前に一人の大学生が生み出したもの。今でもメインステージである大通公園西8丁目ステージは学生だけの力で創られています。資金集めをはじめステージデザイン、企画立案、テレビ局との打ち合わせ、運営などすべてを学生が担当しています。大変なこともありますが、創り上げたときの感動はどこにも負けません。あなたも得意分野を生かして、今しかできないことに挑戦してみませんか?

- 日時／6月9日(水)～13日(日) ご都合の良い時間に合わせてシフトを組ませて頂きます。
- 場所／YOSAKOIソーラン祭り、大通公園西8丁目メインステージ
- 参加費用／当日の衣装代として1,000円かかります。
- お問合せ／YOSAKOIソーラン祭り学生実行委員会〈担当：渡辺〉
Eメール sorangakusei@gmail.com TEL・FAX：011-746-4351 携帯：080-5521-6638

月2回
土

障がい児(者)サッカーの参加者とボランティア募集

知的障がい児(者)と一緒にサッカーやボール遊びを楽しむ活動をしています。参加者や、ボランティアで手伝ってくれる方を募集します。サッカーができなくても運動好きであれば大丈夫です。子どもも大人も一緒に、障がいの有無を問わずサッカーを楽しみませんか? ぜひ遊びに来てください。バーベキューをしたり、大会に参加することもありますよ。また、サッカー用のユニフォームを譲って下さる方がいらっしゃいましたらご連絡ください。

- 日時・場所／月2回土曜日。6～9月は9:30～12:00 川下公園(札幌市白石区川下2651番地3)、10～5月は12:00～15:00 西岡小学校体育館(札幌市豊平区西岡2条9丁目1番1)
- 交通機関／川下公園は、地下鉄「白石駅」より中央バス(白24)「川下公園前」停留所下車、徒歩1分
- お問合せ／サッカーサークルクリスタルF.C〈担当：山田〉 Eメール fccrystal2004@hotmail.com
TEL・FAX：011-823-7451 ホームページ <http://www7a.biglobe.ne.jp/~fc-crystal/>

登録
ヘルパー
募集

興味のある方

ぜひお気軽にご応募ください♪

- 資格／ホームヘルパー2級以上、未経験者大歓迎 35歳以上 夜間は年齢不問 運転免許必須 南区在住の方(周辺の方も応相談)
- 勤務時間／応相談 昼間、深夜相談可
- 給与／時給930円(交通費400円。深夜手当などの諸手当有り)
- 勤務場所／南区とその周辺
- 応募方法／履歴書を当事業所まで郵送するか、下記までご連絡下さい。

NPO法人せせらぎ ヘルパーステーションせせらぎ

〒005-0804 札幌市南区川治4条3丁目4-9 フラワーハイム102号
TEL：(011)572-7810 FAX：(011)572-7840

急募

登録無料 欲しい情報がお手元に

ボラナビ・アラート

活動したい地域・分野・時間帯で
選んで登録。ご希望にあった最新の
ボランティア・イベント情報をお届け!

携帯からも簡単登録→



<http://npohokkaido.jp/volunavi/modules/vsearch/index.php?controller=user>

随時**障がい者の生活サポートおよびバリアフリー化視察特派員募集**

私は苫小牧に住んでいて、日常生活において常時 24 時間介助が必要な障がい者です。苫小牧で福祉の活動を行っております。今回、私の日常生活をサポートしていただける、または活動に力を貸していただけるボランティアさんを広く募集いたします！ 1. 日常生活サポートボランティア。家での生活介助や外出など。または、私の日々の福祉の活動・運動に力を貸していただける方。2. バリアフリー化視察特派員。店舗、公共施設などで写真を撮って状況を見てきてくださる方。不定期で都度ご連絡させていただくかたちになります。詳しくはホームページをご覧ください。携帯電話からでも閲覧可能です。



- 日時／1. 一日 24 時間のうち、できる範囲、できる時間で結構です。2. 不定期。
- 場所／1. 苫小牧市有珠の沢町。2. 各ボランティアの居住地。
- 交通機関／1. JR「苫小牧」駅から車で 15 分（バスで 20 分程）。
- その他／1. 交通費は自己負担。予めメールなどでお話しをさせて頂き、簡単な選考をします。実際の活動は、お名前や稼働できる時間・内容など詳細を登録し、必要な場合にご連絡させていただきます。性別、年齢など不問、心身共に健康な方。難しく考えなくても大丈夫です。介護や看護などの専学・大学生、他分野学生も歓迎します。優しい力が必要です。2. 携帯電話などで写真をとってメールで送れる方。期日指定などはありません。特に札幌や千歳にお住まいの方を急募します！
- お問合せ／長谷川 Eメール htakeo@fork.ocn.ne.jp
携帯：090-1302-4325 FAX：0144-73-7639 ホームページ <http://www.t-network.ne.jp/takeo/>

随時**岩見沢市の移送ボランティアと福祉有償移送情報を募集します**

私は、車イスは使いませんが、めまいとふらつきを伴う体調不良がある女性です。外出の際に送迎をしてくれる方がいるととても助かります。通院や家族に関する用事、買い物などのために、岩見沢と美唄、岩見沢と札幌、岩見沢市内を、どこか 1ヶ所所かまわないので、車で送迎してくれる方はいませんか。また岩見沢や近隣での移送の活動をしている団体があれば、情報を教えてください。どうぞよろしくお願い致します。

- 日時・所要時間／岩見沢－美唄は 8：00～16：00 のなかで、短い時で 3 時間程度。岩見沢市内は、およそ 2 時間。主に平日、週に 1～2 回です。岩見沢－札幌は月 1 回程度およそ 5 時間です。
- その他／謝礼としてガソリン代実費程度と 500 円支給。
- お問合せ／田中 携帯：080-6098-0907 Eメール gogo-yuko.tumabuki.0907@ezweb.ne.jp



～NPO のちよつとした疑問にお答えします。～

Q

今までボランティアだけで運営していましたが、来月から職員を採用して給料を支払うことになりました。その際、給料から所得税を控除することになりますが、税務署に届出や申告をする必要はありますか？

A

常勤・非常勤を問わず、役員報酬や給料を支給する場合には、税務署に「給与支払事務所の開設届出書」を提出することになります。この届出を行うと、源泉所得税の納付書等が送られてきますので、毎月又は半年毎に、源泉所得税の金額等をこの納付書に記入し、銀行等にて支払います。なお、源泉所得税額の計算方法は、雇用状況（主たる給与と先か従たる給与先か）や給料の支給方法（月払・日払等）や扶養人数等で異なりますので、当初は税務署や税理士などに確認することをお勧めします。その他、社会保険や労働保険も必要になる場合がありますので、ご注意ください。

瀧谷和隆（瀧谷和隆税理士事務所 apitakiya@aol.com）

12月まで

札幌 YWCA チャリティバザー実行委員会メンバー募集!

札幌 YWCA では、秋に開催するチャリティバザーの実行委員を募集しています。月1回の委員会に参加していただき、話し合いを通して企画・運営を一緒にやっていただきます。経験を生かしたい方、経験はないけど興味のある方、一度ご連絡ください。

- 日時／委員会は月1回(6~12月。日時はメンバーの都合により決定いたします)。バザー開催日は10月下旬~11月上旬のいずれかの土曜日1日を予定しています。
- 場所／北海道クリスチャンセンター(札幌市北区北7条西6丁目)
- 交通機関／地下鉄南北線「さっぽろ駅」又はJR「札幌駅」<北口>より徒歩5分
- お問合せ／札幌 YWCA <担当:岡野> ホームページ <http://www.ywca.or.jp/~ywca0037/home.htm>
Eメール sapporo@ywca.or.jp (件名は「バザー委員会」とご記入ください)
TEL・FAX: 011-728-8090 (留守電の場合はメッセージを残してください)

6/15締

ロシア・サハリン州の青少年ホームステイ先募集

7月下旬に行われる「青少年サハリン・北海道『体験・友情』の船」は今年12年目を迎えます。この事業は、1999年に当時の北海道とサハリン州両知事が「次代を担う青少年の友好交流は重要」と議定書を交わしたことに始まり、2001年からは北海道の補助対象事業になりました。サハリン州の青少年80人が来道しますので、受け入れてくださるホームステイ先を募集します。

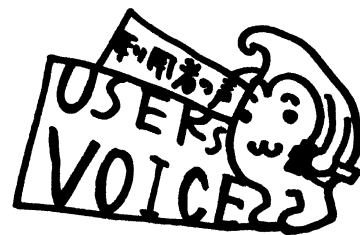
- ホームステイ期間／7月30日(金)~8月1日(日)2泊3日。
- 申込締切／6月15日(火) 先着順で締切らせていただきます。
- その他／7月30日10:00から、かでの2・7で行われるホームステイ対面式への送迎が必要です。2泊3日の滞在費は全て受け入れる家庭の負担となります。なお、今年ホームステイの受け入れに協力して下さる家庭にお子様(小学5年生~大学生)がいる場合、その子は、サハリン州側が参加者の滞在費を負担する第13回「友情・体験」の船に優先的に参加できます。
- お問合せ／NPO 法人北海道日本ロシア協会 <担当:戸田>
Eメール druzhiba@do-nichiro.org TEL: 011-261-8887 FAX: 011-261-0177

日他

少年たちの「ともだち」になりませんか?

札幌市BBS(Big Brothers and Sisters Movement)会は非行に走ってしまった少年少女たちに兄や姉のような存在として接しながら、彼らの健やかな成長をお手伝いするボランティア団体です。少年とBBS会員が一緒にスポーツや料理をして楽しむグループワークをしたり、少年院・更生保護施設に訪問してレクリエーションを行ったりしています。現在、一緒に活動をしてくれる18~35歳位までの方(学生可)を募集しています。研修も行っていますので、特別な知識や経験がなくても大丈夫です!少しでも関心を持った方はお気軽にご連絡ください。

- 日時／例会は第1・3木曜日の夜、活動は日曜日の日中です。
- 場所／札幌保護観察所(札幌市中央区大通西12丁目 札幌第三合同庁舎6階 札幌保護観察所)
- 交通機関／地下鉄東西線「西11丁目駅」<1番出口>より徒歩5分
- お問合せ／札幌市BBS会 札幌保護観察所企画調整課 BBS担当
TEL: 011-261-9225 ホームページ <http://sites.google.com/site/sapporoshibbskaihp/>



ボラナビに情報を掲載した方からのご意見、ご感想を紹介するコーナーです。

▼募集期間終了後にも申し込みをいただいたが断らざるを得なかった。

▼「ボラナビ見たよ」と友人に声をかけられた。多くの人の目に触れていることを頼もしく思う。

▼日頃は大学生のボランティアが多いが、ボラナビに載せると社会人も来て異年代の交流が生まれるので嬉しい。

▼自分たちの広報活動では知らせきれない人たちに、ボラナビに載ると情報を届けられるのが利点。

6/5(土)

- ▶ 大人が楽しむおはなし会
- ▶ ① 10:30~12:00、② 13:30~15:00 ※①②共に同じプログラムです
- ▶ 札幌市資料館 2 階研修室（札幌市中央区大通 13）

「札幌おはなしの会」は、札幌市中央図書館を中心に、学校や施設で「語り」による「おはなし」を届けているボランティア団体です。日本や世界で語り継がれてきた昔話から、耳で楽しめる創作まで、さまざまな「おはなし」を集めて大人の皆さまへお送りします。演目は、山形の昔話「水のたね」、岩手の昔話「すねこ・たんぱこ」など。無料。駐車場・託児施設はありません。問 札幌おはなしの会〈菅井〉Eメール sapporo_ohanashi@yahoo.co.jp
 ※毎月第1・3水曜日に札幌市中央図書館3階で勉強会（例会）をしています。語り手としてボランティア活動を始めてみたい方は、見学大歓迎ですので、気軽にご連絡ください。

6/11(金)

- ▶ 地球環境講演会「美しい地球を子どもたちに」
- ▶ 開場 18:00 講演 18:30~21:00
- ▶ エルプラザ3F ホール（札幌市北区北8西3）

未来の子どもたちに残す地球の姿を決めることができるとしたら、あなたはどんな地球を残しますか？ 地球環境の現実、その問題の本質、私たちはどうするべきかをお伝えします。そこには大きな希望があります。これまでに200万人以上の方が聴きました。さあ！あなたもまずは講演会へ！講師はネットワーク『地球村』代表高木善之氏。定員300人。参加費前売1,500円、当日2,000円。チケットは、大丸・4プラ・道新の各プレイガイドで。託児ひとり500円。要予約。問 NPO 法人 hanna Eメール kouen@hanna-sapporo.net TEL: 011-722-7039
 ホームページ <http://hanna-sapporo.net/>

6/26(土)

- ▶ いのちを想う～映画と演劇のコラボレーション
- ▶ 映画「風のかたち」① 10:30、② 13:30、③ 16:15、④ 18:45
- ※①②③の上映後監督のトークあり。演劇「ねこはしる」17:00開場 17:20~18:20
- ▶ 札幌市教育文化会館4階「風のかたち」は講堂、「ねこはしる」は403号室。（札幌市中央区北1西13）

2009年キネマ旬報文化映画第3位、道内初上映の長編ドキュメンタリー映画「風のかたち」（105分、伊勢真一演出作品）は、医師やボランティアたちがガンの子どもとかわる10年間の、人間の生きる力、希望を描き出します。演劇「ねこはしる」は、詩とオカリナとストリングラフィーが響きあう猫と魚のお話。その他イラクのガンの子どもたちが描いた絵で作ったキルト展示や喫茶コーナー、「ねこはしる」の原作者の朗読会も開催します。チケットは市内プレイガイドで発売中。「風のかたち」前売一般1,200円、当日1,500円、中・高生、シニア、障がい者1,000円、小学生500円。「ねこはしる」前売一般1,800円、学生1,200円、当日は200円増し、小学生は700円（当日のみ）。問「風のかたち」上映実行委員会・「ねこはしる」公演実行委員会〈大関〉TEL・FAX: 011-764-3388

7/10(土)

- ▶ 「いのちの尊さを考える」デーケン氏講演会
- ▶ 14:00~16:00
- ▶ 北大クラーク会館（札幌市北区北8西8）

札幌生と死を考える会は、宗教、政治、職業、年齢に囚われることなく誰もが自由な立場で生と死について考え、学び、行動できる場となることが基本姿勢です。このたび、アルフォンス・デーケン先生（上智大学名誉教授、生と死を考える会名誉会長）を迎えて「いのちの尊さを考える～ユーモアのすすめ～」をテーマに特別講演会をします。参加費会員1,000円、一般1,500円。問 札幌生と死を考える会 Eメール sapseitoshi@yahoo.co.jp
 TEL・FAX: 011-736-1838（電話受付は月・木曜日の11:00~15:00）
 ホームページ <http://www.geocities.jp/sapseitoshi/wakataiinokai.html>

随時

- ▶ 起業したい方の相談受付中
- ▶ 相談の受付は、月～金 10:00~20:00
- ▶ 面談場所、時間は相談者と決めます。

シニアマスターズネットワーク（SMN）では、地域における起業相談活動や起業のサポートを有料で実施する「スタート・ユー & 120%パワーアップ事業」を開始します。相談料30分500円。要事前予約。
 問 NPO 法人シニアマスターズネットワーク（SMN）〈藤原〉（元道庁特別労働相談員）
 Eメール publicgood@kyj.biglobe.ne.jp 携帯: 090-5074-6636

OB・OG 青年海外協力隊

「海外でボランティアをする」—— 夢見たことはあるけれど、実現していない人は多いのではないのでしょうか。もしかしたらあなたが行くかも、あるいは行ったかもしれないその土地の様子を、青年海外協力隊 OB・OG の方々に教えていただきます。

第38回

泣いた！ 笑った！ スリランカの人々と…

小路恵介さん(32歳)2006年3月～2008年3月、スリランカに村落開発普及員として赴任し、津波被災地のコミュニティ形成に携わる。現在は会社員。



住民会議の様子。円陣の中心にいるのが筆者

2004年12月、スマトラ沖地震による大津波がスリランカを襲い、多くの生命・財産が奪われました。家を失った被災者は、避難所、仮設住宅を経て、海外からの支援などで建てられた再定住地の住居に移り住み、新たなコミュニティを作っていました。建物は与えられたと言っても、電気、水道は無く、また、それまでの海岸沿いの生活から離れ、漁業に替わる新たな生計を考えなくてはならないなど、問題は山積みでした。援助慣れし、次の援助をただ待ち続けるだけの彼らに、モノを持ってこない私は全く受け入れてもらえず、これから2年間何をしていけばいいか悩みました。「何も持ってこないなら、もう来なくていい!」と言われながらも、真上から照らされる太陽の陽を浴びながら、汗だくになってとにかく歩いて歩いて毎日1軒でも多くの家を探

り世間話。スリランカの甘すぎる紅茶や辛すぎるカレーをどれだけ振舞われたかで、その日の達成感を感じていました。

そのうち彼らを理解したいという私の気持ちを通じ、みんなは心を開き、一緒に村の問題点と解決策を考えるようになっていきました。定期的な住民会議を行うことで、コミュニティの連携ができ始めました。希望者に職業訓練を実施して彼らの生計向上に取り組んだり、小口融資制度を普及させたことでビジネスが始まるなど、地域は活性化していきました。

住民リーダーによるリーダーシップも大切ですが、子どもたちが容易に作り出す自然な一体感は、さすがでした。週1回の子ども会で歌や踊りを披露したり、新年や子どもの日の運動会やイベントで地域の連帯感を作り出しました。子どもたちが、コミュニティを元気づけたと言っても過言ではありません。私自身、いつの間にか子どもたちに会うために村に行っていたくらいです。そうして、津波の村だけではなく、隣接する古くからの地域住民とも一体となったコミュニティができてきました。2年たった頃には、彼らは自らを津波被災者と呼ぶことは少なくなり、笑顔が増えました。私への反応も、「来なくていい」から「毎日ただ来てくれるだけでいい」に変わっていました。

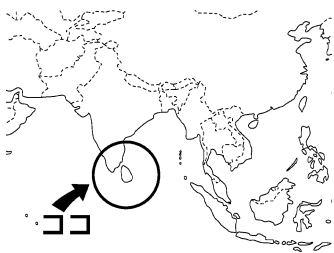
私は日本に戻った今も、子どもたちがどれだけ成長したか気になって仕方ありません。彼らと過ごした町はこれからも私の故郷であり、彼らが元気にがんばっている姿は常に心の支えになっています。



子ども会のイベント

豆知識

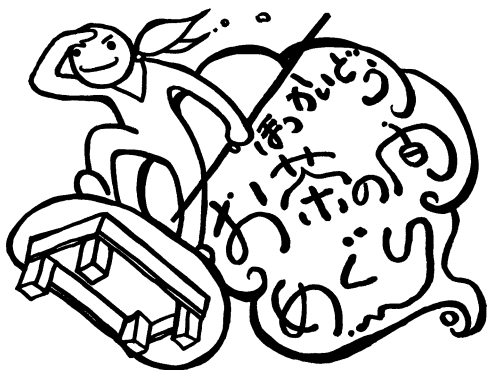
紅茶と宝石で有名。長く続いた内戦は2009年に終結。資源が豊富で、観光国としても発展が期待される。



▼応募相談・活動などボランティアに関するお問い合わせは——

独立行政法人 国際協力機構 札幌国際センター(JICA 札幌)

〒003-0026 札幌市白石区本通16丁目南4番25号 TEL: 011-866-8393 Eメール sictpp@jica.go.jp



誰でも気軽に立ち寄っておしゃべりができる「地域のお茶の間」は、集まった人たちとおしゃべりをしたり、ゲームや料理などをしながら、一緒に楽しい時間を過ごすことができるスペースです。

ホームページで札幌市内を中心に、300ヶ所を紹介中!

お茶の間めぐり

検索

Vol.33

ぎんなんの集い

場 所	西野福祉会館（札幌市西区西野3条2丁目4-12）
日 時	毎月第2金曜日 13:30～15:30
参加費	無料
参加対象	町内の方
主催・連絡先	ぎんなんの集い TEL: 011-641-2400（西区社会福祉協議会）



藤の花見

お茶の間について

お茶やお菓子をいただきながらおしゃべりをしたり、折り紙や牛乳パックなどを使って作品づくりをしたり、トランプや百人一首などのゲームをしたりしています。藤や桜、梅などを見に、近くの公園のほか、バスで近郊まで出かけることもありますし、みなでお弁当を食べる新年会など、季節ごとの行事も行っています。他にも障がい者施設「北愛館」で、しいたけ取りや陶芸を体験したり、町内福祉や介護予防センターの健康講話を聞くこともあり、活動は多彩です。参加者は50～80代の20人です。



木材で工作

メッセージ

ハンカチ、ちり紙だけ持って家から出てきて、おしゃべりを楽しんでほしい、町内の皆さんと顔見知りになって、どこで会っても声をかけあえるようになってほしい、という想いで始めました。気軽に集まれる場です。参加者を増やすために、チラシや口コミで誘っています。ご主人を亡くされて閉じこもっていた70代の方は、「サロンをきっかけに知り合いができ、バスやお店の中で会ってお話しすることもある。外に出る回数が多くなった」とおっしゃっています。ぜひ一度足をお運びください。



**ボラナビカフェも
毎月開催しています。**



日 時／2010年6月12日(土)、7月10日(土)
いずれも10:00～11:30

場 所／ボラナビ事務所(中央区北5西6札幌ビル7階)

内 容／テーマを決めずに楽しく話し合う場です。

参加費／300円。月寒あんぱん本舗(株)ほんま様よりお菓子提供有。

定 員／10人

参加方法／1週間前までに要予約。TEL: 011-242-2042
volunavi@npohokkaido.jp

その他／参加費無料の回も開催します。詳細は3ページにて。

4月の

事務局の1カ月を
振り返りつつご紹介



- 6(火)●知的障がいのある若者のご家族から、遊び相手のボランティアについて相談を受けた。障がい者を対象にした音楽やスポーツ活動を行う団体をいくつか紹介した。
- 10(土)●申請していた助成金の結果が、予定より遅れて到着した。減額されての採択だったが、ボラナビカフェを複数回開催できることになった。詳細は3ページにて。ぜひご参加ください。
- 14(水)●「ボラナビ」を配置してくださるよう、ボラボラさん(ボラナビ倶楽部のボランティア)が企業に依頼をしてくれた。
- 15(木)●出張芸ボランティア(福祉施設や病院からの依頼があれば、出向いて手品や歌などで利用者を楽しませてくれるボランティア)に登録する方から、「ボラナビのサイトを見たテレビ局から取材依頼があった」とお知らせいただいた。地方で活躍していて、無償活動である点が評価されたよう。●自主企

- 画のチラシを持っていらした市民団体の方がいた。
- お顔を合わせられると、エネルギーをいただけるのでとても嬉しい。でもボラナビは人手不足で、ゆっくり対応できないことがほとんどなので、ホームページ入稿フォームやメール、FAX、郵送で情報をいただけるだけで構いません。
- 20(火)●イオンのイエローシート(毎月11日のイオン・デーに買い物をしたお客さんが、レジ精算時に受け取る黄色いシートを応援したい市民団体の投函BOXに入れると、購入金額合計の1%に該当する品物が、その団体に寄贈されるサービス)で、ボラナビに今年度も商品をいただけることが分かった。ご協力いただいたイオンのお客様、ありがとうございました。必要な消耗品について、事務局で相談した。
- 21(水)●障がい者とスポーツをする団体の代表がボラナビを訪ねてくださった。●部屋を区切るパネルと洗濯機を譲りたいという情報をいただく。NPO関係者が多く登録するメーリングリストで広報したら、早々に希望者が現れた。
- 26(月)●某所に申請するため、スタッフが自宅で一生懸命企画書を作成して持ってきたが、図やセクション区切りが多過ぎたからか、事務所のどのパソコンで開こうとしてもフリーズしてダメだった。スタッフはあえなく自宅に持ち帰った。●「猫のえさ」を猫を保護している人に譲りたいという連絡をいただく。市民団体「猫といつまでも」さんを紹介した。

月刊ボラナビの配置先 (今月は札幌市北区をご紹介)ボラナビは毎月25日に約1,000ヶ所に配置しています。

●札幌市 ■北区/JR あいの里教育大駅/モスバーガー新琴似店/びっくりドンキー(麻生店・ファーム太平店)/Y's Cafe/中和石油(新川・エクスプレス新琴似)/北海道エネルギー(北10条・新川南・新川東・新川中央・新川西・チャレンジ新琴似四番通・マール新琴似・篠路・ひまわり団地・百合が原・石狩インター・一番通・新川バイパス・セルフ北19条)/札幌信用金庫(新琴似支店・札幌北支店)/北海道銀行(麻生支店・北二十四条支店・札幌駅北口支店・新川支店・新川中央支店・篠路支店・四番通出張所)/北海道労働金庫(札幌麻生支店・札幌北支店)/北洋銀行北七条支店/札幌創成高校/篠路コミュニティセンター/地区センター(屯田・新琴似・新川・拓北・あいの里・太平百合が原)/麻生総合センター/北区社会福祉協議会/北区民センター/北区役所/新琴似図書館/札幌市市民活動サポートセンター/札幌市男女共同参画センター/まちづくりセンター(篠路・鉄西・札幌・北・新川・新琴似・新琴似西・屯田・麻生・太平百合が原・拓北・あいの里)/麻生球場/北区体育館/北区地域振興課/Honda Cars 札幌北32条店/文教堂新琴似店/北大生協会館店生協書籍部クラーク店/コープさっぽろ(あいの里店・北12条店・新川店・新川3条店・新琴似店・新琴似南店・ひまわり店)/札幌東光ストア(あいの里店・麻生店)/マックスバリュ(北店・北32条店・新琴似店)/スーパーJOY新川店/ディナーベル(新道西店・北大前店)/ビッグハウス(太平店・ノース店・新川店)/北雄ラッキー(篠路店・北24条店・新琴似四番通店)/ホクレンショップ(篠路店・新琴似店・屯田店)/ダイエー麻生店/大原医療福祉専門学校/北海道医療専門学校/北海道芸術デザイン専門学校/藤女子大学/北海道大学/北大学生ボランティア活動相談室/武蔵女子短期大学/北海道医療大学あいの里分校/北海道医療大学病院/教育大札幌校/ドコモショップ(札幌駅北口店・北24条店・篠路店・あいの里店・屯田店・麻生店・新琴似店)/北電札幌北営業所/ニトリ麻生店

その他の配置先は、ボラナビホームページでご覧ください。

※配置に協力していただいている皆さま、ありがとうございます。札幌市内の小中学校と北海道内の社会福祉協議会に配付しています。

遊佐新聞販売株式会社様、有限会社北海道新聞中田専売所様のご協力で、札幌市の一部地域で北海道新聞に折り込み配布をしています。一部地域では、ポスティングをしています。

カフェレポート

4月のカフェは、初対面の方と話す楽しさを感じる会でした。参加者は20~70代の10人。最初は少し緊張気味でしたが、「私は看護師」、「自衛隊にいました」、「パチンコ店で働いています」など、仕事も経験も十人十色とわかり、質問をしあったりして笑顔が増えていきました。市民団体が経費をかけずに利用できる場所や物、地域交流、自然と癒し、などの話題が出て、それぞれについて質問者と経験者の体験談があり、話が広がりました。「職場には年下の人が多い。今日は年配者の話を聞けてよかった」「障がい者に優しい地域は、相互理解の上に成り立つ」といった言葉が、印象に残りました。千歳で農作業をするNPOの方たちが、会の終了後に無農薬のそば粉でそばがきを作ってくれて、皆で食べました。

(村上智恵子)



ボラナビ倶楽部を支援してくださった方々 (マミム順)

森田雄二様

進藤芳彦様

北雄ラッキー株式会社様

遊佐新聞販売株式会社様

生活クラブ生活協同組合様

北海道銀行様

株式会社 HBA 様

NPO 法人チャリティ・プラットホーム様

北海道新聞社様

株式会社 NTT ドコモ様

株式会社土屋ホーム様

有限会社北海道新聞中田専売所様

札幌信用金庫様

寺岡ファシリティーズ株式会社様

北海道文化放送様

札幌通運労働組合様

中道リース株式会社様

匿名希望者様

城宝和茂様

株式会社ニトリ様

寄付金について

月刊ボラナビの発行は、企業や個人の方々からの寄付金でまかなわれています。10,000 円以上の寄付金や、この欄への 10,500 円の寄付広告をいただいた際は、誌面でお名前をご紹介します。また、札幌市のさぽーとぽつと基金を利用してボラナビに寄付をすると、個人なら所得税及び住民税の寄付金税額控除、法人なら全額損金参入が可能です。☎札幌市市民まちづくり局 TEL: 011-211-2964 メール shimin-support@city.sapporo.jp

■情報掲載料金 (各 1 号につき)

種 類	サイズ (天地×左右)	料 金
企業・行政など広告A	50 mm×157 mm	63,000 円
企業・行政など広告B	50 mm× 76 mm	31,500 円
NPO・NGO の情報A	50 mm×157 mm	10,500 円
NPO・NGO の情報B	50 mm× 76 mm	5,250 円
NPO・NGO の情報C	定型	無 料
裏 表 紙	50 mm×157 mm	105,000 円
バナー広告	60 ピクセル×120 ピクセル	52,500 円 (1,400 円/日)

※基本的に前払いをお願いいたします。

※上記の料金は、ご自身で制作された場合のものです。ボラナビ倶楽部に制作を依頼される場合は、別途ご相談ください。(A=6,300 円、B=4,200 円、バナー広告=6,300 円)

※バナー広告の掲載団体・個人は協賛一覧で紹介させていただきます。

※「NPO・NGO の情報C」は、誌面の都合により掲載できない、又は縮小する場合があります。

■定期購読のご案内

●各号 1 部 (6 ケ月間)…………… 1,575 円

複数部を希望される場合は、ボラナビ倶楽部までお問い合わせください。

●お申込み方法 定期購読ご希望の方は、ボラナビ倶楽部までご連絡ください。

定期購読のお申し込みをされる場合 (特に企業でお申し込みの場合) は、寄付または寄付広告をご検討ください。詳細は上記の「寄付金について」をご覧ください。

ボラナビ倶楽部への
お振り込みは■ゆうちょ銀行 (郵便振替)
02700-1-5671■北洋銀行北 7 条支店
(普) 3662056■北海道銀行札幌駅北口支店
(普) 0816050■北海道労働金庫道庁支店
(普) 3153060■札幌信用金庫本店
(普) 4255071

●口座名: ボラナビ倶楽部

※北海道労働金庫の窓口でお振り込みの際は、支払い手数料はかかりません。

■クレジットカードによる支払いも可能です。詳細はボラナビのホームページでご確認ください。

■ボラナビモバイル



QR コード対応携帯のみ

ボラナビ・コールサービススタート!

市民団体などに代わってボラナビ倶楽部が窓口となるサービスを今年度試験的に始めます。利用される方はボランティア募集情報をボラナビなどに掲載する際、連絡先としてボラナビ倶楽部の電話、FAX、メールアドレスを告知していただくことが可能です。「専門の事務局員を置くことができない」「ボラナビに掲載したいけど公開できる連絡先が無い」という市民団体の声を受けて企画しました。ぜひご利用ください。

■代理業務内容・・平日9:00~15:00にかかってきた電話の対応と、それ以外の時間に受け付けた留守電・FAX・メールなどのご連絡内容を転送します。※複雑な問い合わせが想定されるケースなどはお引き受けできないことがあります。

■料金・・・2,100 円 (税込/前払)。月刊ボラナビ発行日 25 日~翌月末日の約ひと月間。

■お問合せ・・NPO法人ボラナビ倶楽部/Email volunavi@npohokkaido.jp/TEL 011-242-2042/FAX 011-242-2043

■ホームページアドレス
http://www.npohokkaido.jp/volunavi/
■メールアドレス
volunavi@npohokkaido.jp

■発行/NPO 法人 ボラナビ倶楽部
〒060-0005
札幌市中央区北 5 条西 6 丁目 2 札幌ビル 7 階
TEL 011-242-2042 FAX 011-242-2043

■発行日/2010年5月25日
■発行部数/37,500 部

■代表/森田英美子
■印刷/納付インポート
■イラスト/タケタミヲ

PRINTED WITH
SOY INK

この印刷物は環境にやさしい
「大豆インキ」を使用しています。